

マイグレーションガイド

Novell® ZENworks® 11 Asset Management

11

2011 年 1 月 5 日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007–2011 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製・転載することは、その形態を問わず禁じます。

本書に記載された製品で使用されている技術に関連する知的所有権は、弊社に帰属します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents の Web ページ \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) に記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation/zenworks11/\)](http://www.novell.com/documentation/zenworks11/) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 マイグレーションユーティリティの使用	9
1.1 開始準備	9
1.2 概要	10
1.2.1 システム要件	11
1.2.2 マイグレーションプロセス	12
1.3 ZENworks Migration Utility のダウンロードとインストール	13
1.4 マイグレーションソースの選択	14
1.5 マイグレーション先の選択	17
1.6 オブジェクトのマイグレート	19
1.6.1 インベントリデータの移行	20
1.6.2 管理者定義フィールド定義の移行	22
1.6.3 ローカル製品の定義の移行	23
1.6.4 アセット管理データの移行	24
1.6.5 アセット管理データのみの移行	25
1.6.6 ライセンス記録の移行	27
1.6.7 カスタムレポートの移行	28
1.6.8 マイグレーションパフォーマンスのガイドライン	31
2 マイグレーションコンソールの参照	33
2.1 メニューオプション	34
2.2 [マイグレートするオブジェクトの選択] タブ	35
2.3 [マイグレートする項目] タブ	36
2.4 [マイグレーションステータス] タブ	36
2.5 [マイグレーション履歴] タブ	36
2.6 [マイグレートオブジェクト] タブ	37
2.7 [ZAM データベースを選択] フィールド	37
2.8 [Select Zone (ゾーンを選択)] フィールド	40
2.9 [マイグレーションの開始] ボタン	41
2.10 [キャンセル] ボタン	41
2.11 マイグレーションキュー進行状況	41
2.12 マイグレーションタスク進行状況	41
A ZENworks 7 Desktop Management と ZENworks 7.5 Asset Management の両方のマイグレーション	43
A.1 マイグレーション順序	43
A.2 ZAM Migration Utility メッセージ	44
B ZENworks オブジェクトとその一意性	47
B.1 重複オブジェクトの詳細	47
B.1.1 購入レコード	48
B.1.2 カタログ製品	48
B.1.3 ライセンス製品	48
B.1.4 検出された製品	48

B.1.5	ソフトウェアコレクション	48
B.1.6	契約	49
B.1.7	日付通知	49
B.1.8	文書	49

用語集	51
------------	-----------

このガイドについて

この『Novell ZENworks 11 Asset Management マイグレーションガイド』には、選択したインベントリとアセット管理のデータを、ZENworks® Asset Management 7.5 からインストール済みの Novell® ZENworks 11 Asset Management システムに正常に移行するのに役立つ情報が記載されています。

このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「マイグレーションユーティリティの使用」
- ◆ 33 ページの第 2 章「マイグレーションコンソールの参照」
- ◆ 47 ページの付録 B「ZENworks オブジェクトとその一意性」
- ◆ 51 ページの「用語集」

対象読者

このガイドは、ZENworks 管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 11 Asset Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。ZENworks 11 のマニュアル (<http://www.novell.com/documentation/zenworks11/>) を参照してください。

マイグレーションユーティリティの使用

1

次のセクションでは、Novell ZENworks 11 Asset Management Migration Utility を使用して ZENworks Asset Management 7.5 からデータを移行する方法を説明します。

- [9 ページのセクション 1.1 「開始準備」](#)
- [10 ページのセクション 1.2 「概要」](#)
- [13 ページのセクション 1.3 「ZENworks Migration Utility のダウンロードとインストール」](#)
- [14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」](#)
- [17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#)
- [19 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレート」](#)

1.1 開始準備

ZENworks Asset Management 7.5 から ZENworks 11 Asset Management へデータの移行を開始する前に、次の点に注意してください。

- ZENworks 7 Desktop Management を ZENworks Asset Management 7.5 ワークステーションにインストールしてある場合、[43 ページの付録 A 「ZENworks 7 Desktop Management と ZENworks 7.5 Asset Management の両方のマイグレーション」](#) を参照して 2 つの製品を正しい順番で移行してください。
- ソースおよびマイグレーション先の両方のデータベースをバックアップする必要があります。
- マイグレーションユーティリティを実行する前に、ZENworks Asset Management 7.5 のインベントリプロセスをオフにします。
- 古いマイグレーションユーティリティバージョンでインベントリデータをマイグレートした場合は、同じバージョンを使用してアセット管理データをマイグレートする必要があります。
- 使用するマイグレーションユーティリティバージョンは、ZENworks 管理ゾーンのバージョンと一致している必要があります。マイグレーションユーティリティは、バージョン番号が一致しないゾーンには接続できません。
- オブジェクトを移行できるのは一度だけです。
- ネットワークデバイスは移行されません。
- インベントリデータはアセット管理データより前に移行する必要があります。段階的マイグレーションを実行する場合は、すべてのステージングが完了するまでアセット管理データを移行しないでください。ステージングの詳細については、[20 ページの「マイグレーションのステージング」](#) を参照してください。
- 一部のカスタムレポートは移行されません。移行されないカスタムレポートのリストについては、[28 ページのセクション 1.6.7 「カスタムレポートの移行」](#) を参照してください。

- ◆ SQL サーバのマイグレーション時には、ファイルサイズに関する次の推奨内容を考慮してください。
 - ◆ マイグレーション先データファイルは、マイグレーション元のデータファイルの 1.1 倍以上なければなりません。
 - ◆ マイグレーション先ログファイルは、マイグレーション元のデータファイルの 1.2 倍以上なければなりません。
- ◆ 同じアセット管理データの一部が含まれたデータインストールをマイグレートすると、マイグレーションプロセス中にマイグレーションエラーが発生したり、失敗することがあります。詳細については、[47 ページの「ZENworks オブジェクトとその一意性」](#)を参照してください。
- ◆ マイグレーションパフォーマンスを向上するため、開始前に ZENworks Asset Management 7.5 データベースをパーティションしておくことを強く推奨します。詳細については、[31 ページのセクション 1.6.8「マイグレーションパフォーマンスのガイドライン」](#)を参照してください。

1.2 概要

マイグレーションユーティリティを使用して、ZENworks Asset Management 7.5 収集ドメインで定義されたインベントリデータ、およびアセット管理データをマイグレートできます。このデータには次のものが含まれます。

- ◆ インベントリデータ
 - ◆ デバイス (必要に応じて、削除済みのデバイスを含みます。[20 ページのセクション 1.6.1「インベントリデータの移行」](#)を参照してください。)
 - ◆ デバイス履歴
 - ◆ ローカルソフトウェア製品
 - ◆ ハードウェア / ソフトウェアコンポーネント
 - ◆ 管理者定義フィールド (ZENworks Asset Management 7.5 での名称はユーザ定義フィールド)
 - ◆ カスタムレポート
- ◆ アセット管理データ
 - ◆ アセット管理使用状況データ
 - ◆ アセット管理カスタムレポート
 - ◆ アセット管理の管理者定義フィールド (ZENworks Asset Management 7.5 での名称はユーザ定義フィールド)
 - ◆ カタログ製品
 - ◆ 検出された製品
 - ◆ 購入記録
 - ◆ ライセンス製品
 - ◆ ソフトウェアコレクション
 - ◆ 契約と日付通知
 - ◆ 文書

ネットワークデバイス、および契約とネットワークの関係は移行されません。契約とネットワークデバイスの関係は、ZENworks 11 Asset Management でのネットワーク検出プロセスの実行後に再設定できます。

インベントリデータは、個別のデバイス単位またはグループとして移行できます。アセット管理データはグループとして移行されます。

インベントリデータを移行すると、デフォルトで次のデータも移行されます。

- ◆ **ローカル製品の定義** : ZENworks Asset Management 7.5 に定義されているローカル製品の定義です。これらの製品定義は、グループとして移行されます。個別に移行することはできません。インベントリデータとは別にローカル製品の定義のみを移行したい場合は、[23 ページの「ローカル製品の定義の移行」](#)を参照してください。
- ◆ **管理者定義フィールド定義** : ZENworks Asset Management 7.5 に定義されている、アセット管理とインベントリの管理者定義フィールドです (管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドと呼びます)。これらのフィールド定義はグループとして移行されます。個別には移行されません。インベントリデータとは別に管理者定義フィールドの定義のみを移行したい場合は、[9 ページの「マイグレーションユーティリティの使用」](#)を参照してください。
- ◆ **カスタムレポート** : ZENworks Asset Management 7.5 に定義されているアセット管理およびインベントリのカスタムレポートです。レポートはグループとして移行されます。インベントリデータとは別にカスタムレポートを移行したい場合は、[28 ページの「カスタムレポートの移行」](#)を参照してください。

インベントリデータを移行すると、次のアセット管理データも移行されます。

- ◆ 使用状況データ
- ◆ カスタムレポート
- ◆ 管理者定義フィールド

1.2.1 システム要件

マイグレーションユーティリティには次の要件が必要です。

- ◆ Windows XP Professional 5.1 SP 2、Windows XP Professional 5.1 SP 3、Windows Vista SP1 x86、Windows Server 2003 5.2 SP2、または Windows Server 2008 x86。Windows 2000 および Windows 2008 はサポートされていません。
- ◆ マイグレーション元とマイグレーション先データベースサーバへのネットワーク接続
- ◆ マイグレーション元 :ZENworks Asset Management 7.5
- ◆ マイグレーション先 :ZENworks 11 Asset Management
- ◆ Microsoft .NET Framework Version 2.0 (x86) 再頒布可能パッケージ
- ◆ (オプション)ZENworks 11 Asset Management。この製品は、マイグレーション済みのアセット管理データを表示するために必要です。

次のデータベースの組み合わせで、データをマイグレートすることができます。

- ◆ SQL サーバから SQL サーバへ
- ◆ SQL サーバから Sybase へ
- ◆ Oracle から Oracle へ

マイグレーションが可能な Oracle データベースは、Oracle 9.2、Oracle 10.1、または Oracle 10.2 です。Oracle データベースを使用している場合は、次の点を確認してください。

- ◆ マイグレーションユーティリティを実行するマシン上に、Oracle クライアントがインストールされていなければなりません。バージョン 10.1 および 10.2 の場合は、InstantClient ではなく、Administrator でなければなりません。
- ◆ Oracle 10.2 クライアントの場合は、5473334 (Doc ID 387818.1) のパッチを適用しなければなりません。パッチ内に含まれている複数のデータアクセスコンポーネントのうち、Oracle Provider for OLEDB 10.2.0.2.20 が必要です。
- ◆ TNSNAMES.ORA には、マイグレーション元とマイグレーション先の両方のデータベースサービスのエントリが含まれていなければなりません。これらのエントリを自動的に作成するには、Oracle Enterprise Manager Console または Net Configuration Assistant—Local Net Service Name 環境設定を使用して、ZENworks Asset Management 7.5 と ZENworks 11 Asset Management のデータベースにログインします。エントリに使用する名前は、対応するサービス名と正確に一致する必要があります。
- ◆ Oracle bin ディレクトリ (たとえば C:\oracle\product\10.2.0\client_1\BIN) は PATH 設定内に含める必要がありますが、他の Oracle 製品とインストール用のディレクトリは PATH 設定内に含めてはなりません。
- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 Oracle データベース (デフォルトでは NCSYSTEM) のスキーマに関連付けられているユーザは、マイグレーション実行中に「DBA」の役割を担う必要があります (デフォルトでは、NCSYSTEM だけが「CONNECT」の役割を担います)。

1.2.2 マイグレーションプロセス

オブジェクトのマイグレート (インベントリデータ、カスタムレポートなど) は 6 つの手順で構成されています。

1. マイグレーションユーティリティをインストールする。詳細については、[13 ページのセクション 1.3 「ZENworks Migration Utility のダウンロードとインストール」](#)を参照してください。
2. マイグレーションの開始前と各ステージングが正常に完了した後で、ソースと宛先のデータベースを両方バックアップする。
3. マイグレーションソースを選択する。詳細については、[14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」](#)を参照してください。
4. マイグレーション先を選択する。詳細については、[17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#)を参照してください。

たとえばパイロットマイグレーションなど、以前に宛先ゾーンを選択済みの場合、ZENworks Asset Management 7.5 ソースデータベースに保存されているマイグレーションステータスデータをクリアするかどうかを問うメッセージが表示されます。マイグレーション先を変更する場合にはクリアする必要があります。マイグレーションステータスデータをクリアするには [OK] をクリックします。

警告： マイグレーションの宛先を再選択することはできません。たとえば、パイロットマイグレーションの宛先を選択して、運用の宛先に切り替えると、パイロットの宛先に戻ることはできません。

5. マイグレートするオブジェクトの選択

管理者定義フィールドの定義、ローカル製品の定義、およびカスタムレポートは、デフォルトでは、インベントリデータを初めて移行する際に移行されます。これらを別々に移行するには、[19 ページのセクション 1.6「オブジェクトのマイグレート」](#)を参照してください。データベーススキーマが変更されたため、一部のカスタムレポートは移行されません。詳細については、[28 ページのセクション 1.6.7「カスタムレポートの移行」](#)を参照してください。

移行するオブジェクトを選択するときは、次の点に留意してください。

- ◆ インベントリデータとアセット管理データは、同じバージョンのマイグレーションユーティリティを使用してマイグレートする必要があります。
- ◆ オブジェクトを移行できるのは一度だけです。
- ◆ インベントリデータは、アセット管理データの前にマイグレートする必要があります。
- ◆ インベントリされていないワークステーションはマイグレートされません。さらに、ワークステーションが契約に関連付けられている場合、契約ワークステーションの関係もマイグレートされません。

ステージマイグレーションを実行する場合は、マイグレートするワークステーションのサブセットを選択します。アセット管理データは、ステージングがすべて完了するまで移行しないでください。ステージングの詳細については、[20 ページの「マイグレーションのステージング」](#)を参照してください。

6. マイグレーションを開始する。

移行するデータベースのサイズによっては、マイグレーションの完了までに数時間かかることがあります。マイグレーション中、マイグレーションユーティリティの応答がなくなることがあります。マイグレーションを中断またはキャンセルした場合は、再開できます。この場合、マイグレーションは、マイグレーションプロセスで最後に移行されたレコードから続行されます。マイグレーションプロセスを再度実行したときにエラーが一覧表示される場合は、無視してかまいません。詳細については、[19 ページのセクション 1.6「オブジェクトのマイグレート」](#)を参照してください。

1.3 ZENworks Migration Utility のダウンロードとインストール

次のステップを実行して、ユーティリティを実行する Windows デバイスに ZENworks Migration Utility 実行可能ファイルをダウンロードしてインストールします。

注：マイグレーションユーティリティのインストール前に、Microsoft .NET Framework Version 2.0 Redistributable Package (x86) をインストールしておく必要があります。

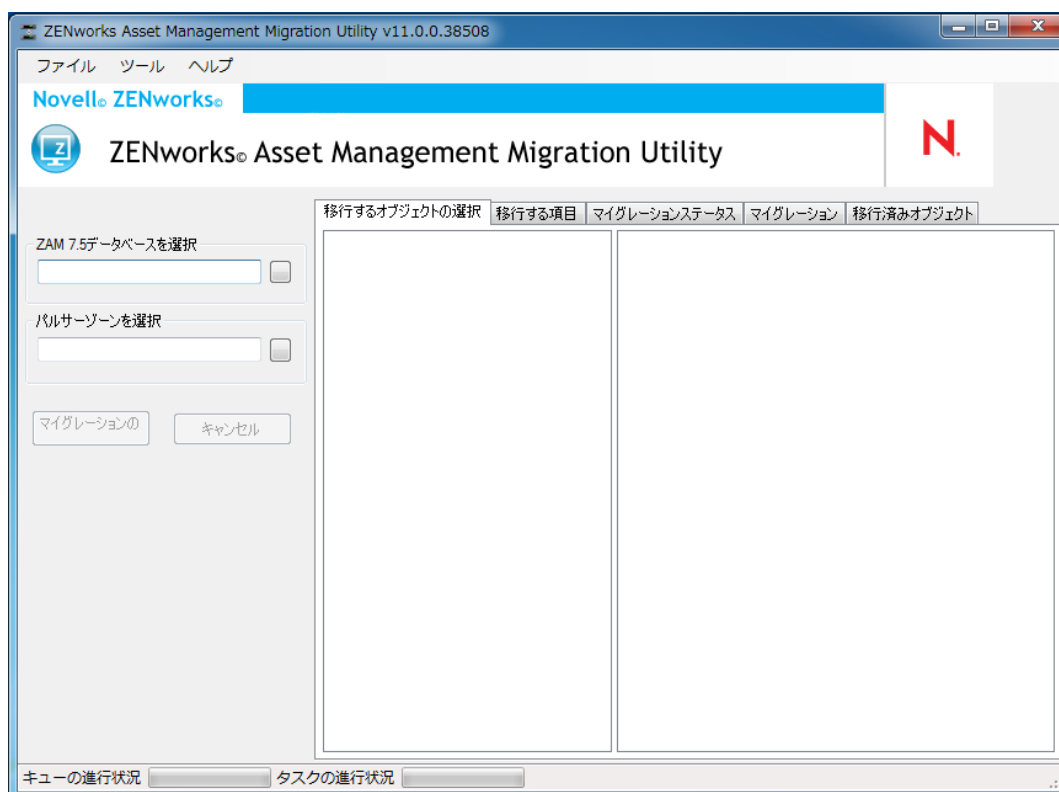
- 1 (条件付き) 以前のバージョンのユーティリティがすでにデバイスにインストールされている場合は、最新バージョンをインストールする前にこれをアンインストールしてください。
- 2 Web ブラウザを使用して、次の場所のいずれか適当な場所に一時的に ZENworks Asset Management Migration Utility をダウンロードできます。
 - ◆ **[ZENworks ダウンロード] ページ：**http://zenworks_primary_server_id/zenworks-setup/?pageId=tools に移動し、[ZAMmigration.exe] をクリックします。ユーティリティをダウンロードできる場所から Novell ダウンロードサイト上のページに自動的にリダイレクトされます。

- ◆ **Novell ダウンロードサイト** : <http://download.novell.com> に移動し、ダウンロードする ZENworks Configuration Management Migration Utility を検索します。
- 3** ZAMmigration.exe を実行して、ワークステーションにインストールします。
- 4** サポートされている Windows デバイス上でユーティリティを実行するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。

1.4 マイグレーションソースの選択

マイグレーションソースは ZENworks Asset Management 7.5 データベースです。マイグレーションユーティリティでは、作成、変更、削除の特権を使用して、マイグレーション元にログインする必要があります。データベースにログインする

- 1** [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。



- 2** [ZAM データベースを選択] フィールドの横のボタンをクリックします。Microsoft SQL のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

ZAMデータベースログイン

Novell ZENworks

ZENworks Asset Management Migration Utility

データベースタイプ(T):
MS SQL Server 2005 Express

サーバ(S):
engsql01

データベース(D):
Utopia

ユーザ名(U):
administrator

パスワード(P):
xxxxxx

接続テスト(C) ヘルプ(H) OK キャンセル

Oracle のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

ZAMデータベースログイン

Novell ZENworks

ZENworks Asset Management Migration Utility

データベースタイプ(T):
Oracle 9i/10g

サービス名(S):
lnx102c.lbn

ユーザ名(U):
jekdb1

パスワード(P):

接続テスト(C) ヘルプ(H) OK キャンセル

3 次のフィールドに入力します。

データベースタイプ: データベースタイプを指定します。たとえば、外部および組み込み MS SQL Server の両方のデータベースに [MS SQL Server 2000/2005] を指定します。または、最新の Oracle データベースタイプに、[Oracle 9i/10g] を指定します。

サーバ: データベースサーバの DNS 名または IP アドレスのいずれかを指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後にログインしたサーバがここに表示されます。

データベース: データベース名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後にログインしたデータベースがここに表示されます。

サービス名: Oracle のマイグレーションでは、サービス名を指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたサービスがここに表示されます。

ユーザ名: ユーザ名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後に使用されたユーザ名がここに表示されます。

パスワード: パスワードを指定します。これは、認証のために毎回指定する必要があります。

- 4 [OK] をクリックして接続します。最初に [テスト接続] をクリックして、データベースに接続できるかどうかを確認できます。
- 5 17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」に進みます。

1.5 マイグレーション先の選択

ZENworks 11 Asset Management 用マイグレーションソース管理ゾーンへログインするには、次の手順に従います。

- 1 マイグレーションソースが選択済みであることを確認します (14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」を参照してください)。
- 2 マイグレーションコンソールで、[ゾーンの選択] フィールドの右にあるボタンをクリックします。

パイロットマイグレーションなど、以前に宛先ゾーンを選択している場合、ZENworks Asset Management 7.5 ソースデータベースに保存されているマイグレーションステータスデータをクリアするかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。この処理は、マイグレーションの宛先を変更する場合は必要です。マイグレーションステータスデータをクリアするには、[OK] をクリックします。

警告: マイグレーションの宛先を再選択することはできません。たとえば、パイロットマイグレーションの宛先を選択して、運用の宛先に切り替えると、パイロットの宛先に戻ることはできません。

ゾーンログイン

Novell ZENworks

ZENworks Asset Management Migration Utility

ゾーン:
<新規ゾーン>

ユーザ名:

パスワード:

プライマリサーバ:

ポート:
443

ヘルプ OK キャンセル

3 次のフィールドを入力して、宛先の管理ゾーンに認証します。

ゾーン: 管理ゾーンを指定します。このフィールドは、[ゾーンログイン] ダイアログボックスに最初にアクセスしたときには空です。その後、このダイアログボックスを使用してログインしたゾーンは、ドロップダウンリストに表示されます。このダイアログボックスを使用するたびに、最後にログインしたゾーンがここに表示されます。

ユーザ名: ゾーンのユーザ名を指定します。通常は *Administrator* を使用します。マイグレーションコンソールを使用してこのゾーンに始めてログインした場合は、何も表示されません。最初でない場合は、最後に使用したユーザ名が表示されます。[ゾーン] フィールドで管理ゾーンを選択する場合は、このフィールドには、そのゾーンで最後に使用したユーザ名が自動的に入力されます。

パスワード: パスワードを指定します。これは、認証のたびに入力する必要があります。

プライマリサーバ: プライマリサーバの DNS 名または IP アドレスを指定します。このフィールドは、管理ゾーンを [ゾーン] フィールドで選択する場合には、自動的に入力されます。

ポート : ZENworks プライマリサーバの標準ポートは 443 です。サーバが別なポートを使用している場合は、ポート番号を指定します。

4 [OK] をクリックします。

[マイグレートするオブジェクトの選択] タブには、各グループのオブジェクト数と共にマイグレートするために使用できるオブジェクトグループが表示されます。

5 [19 ページのセクション 1.6「オブジェクトのマイグレート」](#)に進みます。

1.6 オブジェクトのマイグレート

各グループのオブジェクトのマイグレートの詳細については、以下のトピックを参照してください。異なるタイプのオブジェクトを移行するための手順は個別に提示されていますが、1 回につき 1 つのタイプのオブジェクトだけを移行する必要はありません。すべてのデータを一度にマイグレートするか、マイグレートするデータを選択することができます。インベントリデータをマイグレートするとき、デフォルトで管理者定義フィールド、ローカル製品定義、およびカスタムレポート定義がマイグレートされます。

マイグレートするオブジェクトを選択する際は、以下の内容に注意してください。

- オブジェクトを移行できるのは一度だけです。
- インベントリデータはアセット管理データより前に移行する必要があります。
- インベントリデータとアセット管理データは、同じバージョンのマイグレーションユーティリティを使用してマイグレートする必要があります。
- インベントリされていないワークステーションはマイグレートされません。さらに、ワークステーションが契約に関連付けられている場合、契約ワークステーションの関係もマイグレートされません。

ステージマイグレーションを実行する場合は、マイグレートするワークステーションのサブセットを選択します。アセット管理データは、ステージングがすべて完了するまで移行しないでください。ステージングの詳細については、[20 ページの「マイグレーションのステージング」](#)を参照してください。

定義だけをマイグレートする場合は、次の関連項目を参照してください。

- [20 ページのセクション 1.6.1「インベントリデータの移行」](#)
- [22 ページのセクション 1.6.2「管理者定義フィールド定義の移行」](#)
- [23 ページのセクション 1.6.3「ローカル製品の定義の移行」](#)
- [24 ページのセクション 1.6.4「アセット管理データの移行」](#)
- [25 ページのセクション 1.6.5「アセット管理データのみの移行」](#)
- [27 ページのセクション 1.6.6「ライセンス記録の移行」](#)
- [28 ページのセクション 1.6.7「カスタムレポートの移行」](#)
- [31 ページのセクション 1.6.8「マイグレーションパフォーマンスのガイドライン」](#)

マイグレーションコンソールの詳細については、[33 ページの第 2 章「マイグレーションコンソールの参照」](#)を参照してください。

1.6.1 インベントリデータの移行

インベントリデータを移行すると、デフォルトで次のデータも移行されます。

- ◆ デバイス (必要に応じて、削除済みとマークされたワークステーションを含みます。詳細については、[20 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータの移行」](#) を参照してください。)
- ◆ デバイス履歴
- ◆ ローカルソフトウェア製品
- ◆ ハードウェア / ソフトウェアコンポーネント
- ◆ アセット管理使用状況データ
- ◆ インベントリおよびアセット管理の管理者定義フィールド (ZENworks Asset Management 7.5 での名称はユーザ定義フィールド)
- ◆ インベントリおよびアセット管理カスタムレポート

注 : [Migrate All Inventory Data(すべてのインベントリデータをマイグレート)] オプションは、Oracle データベースのマイグレーションでは使用できません。

マイグレーションのステージング

マイグレートするワークステーションのサブセットを選択して、ステージマイグレーションを実行できます。使用データおよびインベントリデータは、ワークステーションがマイグレートされる時マイグレートされます。ワークステーションの最初のマイグレーションの後で ZENworks Asset Management 7.5 に累積される追加の使用データおよびインベントリデータはマイグレートされません。

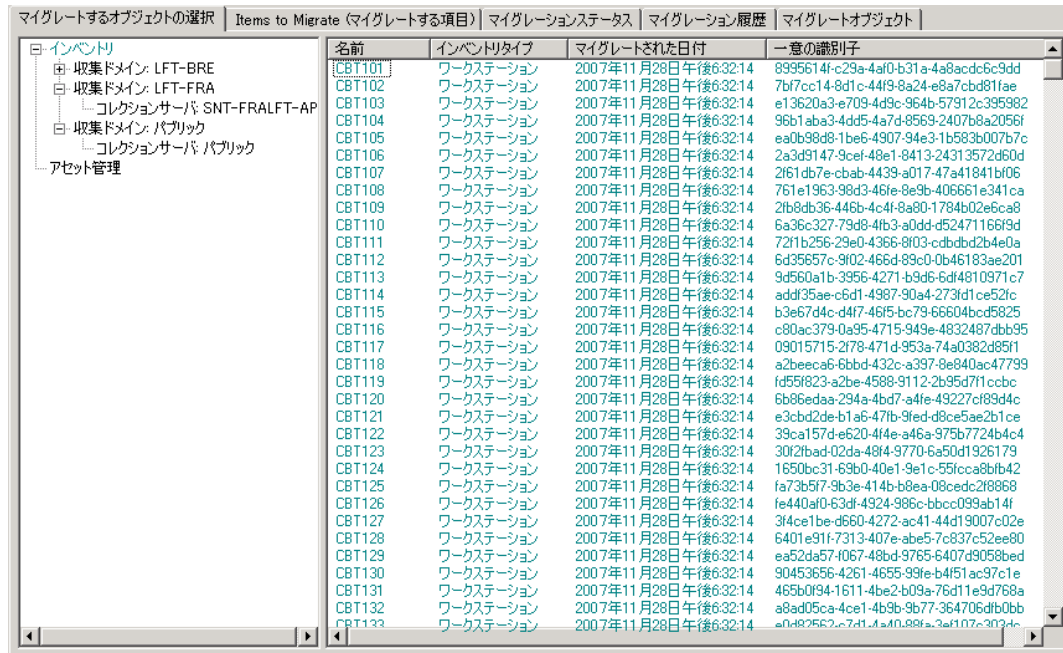
注 : すべてのステージングが完了するまでアセット管理データはマイグレートしないでください。

削除済みワークステーションの移行

ZENworks Asset Management 7.5 で削除済みとしてマークされたワークステーションを ZENworks 11 Asset Management にマイグレートできます。マイグレーション後、これらのワークステーションは ZENworks コントロールセンター ([デバイス] > [検出済み] > [ZENworks Asset Management マイグレーション経由で作成されたデバイス]) に検出されたデバイスとして表示されますが、アセット管理レポートからはフィルタで除外されます。削除済みワークステーションのマイグレートの詳細については、[21 ページのステップ 5](#) を参照してください。

インベントリデータの移行

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。
- 2 [14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」](#) および [17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#) に示されているように、ZENworks Asset Management 7.5 データベースと ZENworks 11 管理ゾーンにログインします。
- 3 [マイグレートするオブジェクトの選択] タブをクリックします。



- 4 [インベントリ] をクリックして目的の収集ドメインおよびコレクションサーバを選択します。

右側にワークステーションのリストが表示されます。

- 5 移行するデータを選択します。

- すべてのワークステーションを選択するには、[インベントリ] を右クリックして、[すべてのインベントリデータをマイグレート] を選択します。([Migrate All Inventory Data(すべてのインベントリデータをマイグレート)] オプションは、Oracle のマイグレートでは使用できません。)
- 個別のワークステーションを選択するには、パネルの右側に一覧表示されているワークステーションを右クリックし、[Add Item(s) To Migration Queue (マイグレーションキューに項目を追加)] を選択します。<Shift> または <Ctrl> を押しながら項目をクリックすると、複数の項目を選択できます。

注: 削除済みとマークされたワークステーションを移行するには、[ツール] > [オプション] の順にクリックし、[削除済みワークステーションの移行] を選択します。

- 6 (オプション) マイグレーションリストからワークステーションを削除するには、[Items to Migrate (移行する項目)] タブをクリックしてワークステーションを右クリックし、[Remove Item(s) from Migration Queue (マイグレーションキューから項目を削除)] を選択します。

- 7 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。

[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。移行されたワークステーションは、ZENworks コントロールセンター ([デバイス] > [検出済み] > [ZENworks Asset Management Migration 経由で作成されたデバイス]) に、検出されたデバイスとして表示されます。

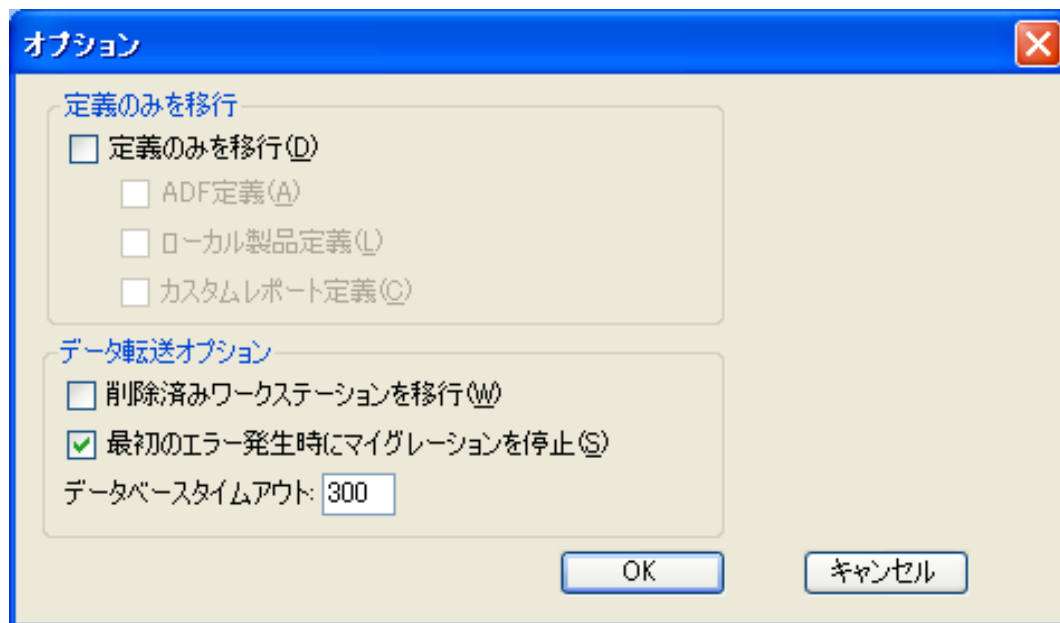
次のメッセージが表示される場合は、[44 ページのセクション A.2 「ZAM Migration Utility メッセージ」](#)を参照してください。

- ◆ インベントリデータに ZENworks 7 Desktop Management GUID がありません。
- ◆ ZENworks Asset Management インベントリデータに、ZENworks Configuration Management ターゲットデータベースにすでに存在するデバイスがあります。
- ◆ この ZENworks Asset Management デバイスは、すでに ZENworks Configuration Management ターゲットデータベースに存在しているため、移行されません。

1.6.2 管理者定義フィールド定義の移行

アセット管理とインベントリの管理者定義フィールド定義は、インベントリマイグレーションを初めて実行したときに自動的に移行されます (アセット管理の管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドと呼ばれます)。インベントリデータではなく、管理者定義フィールドだけをマイグレートする場合は、以下を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。
- 2 [14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」](#) および [17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#) に示されているように、ZENworks Asset Management 7.5 データベースと ZENworks 11 管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを表示します。



- 4 [定義のみを移行] を選択します。
- 5 [ADF 定義] を選択します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [ユーザ定義フィールド] を右クリックし、[すべてのユーザ定義フィールドの移行] を選択します。

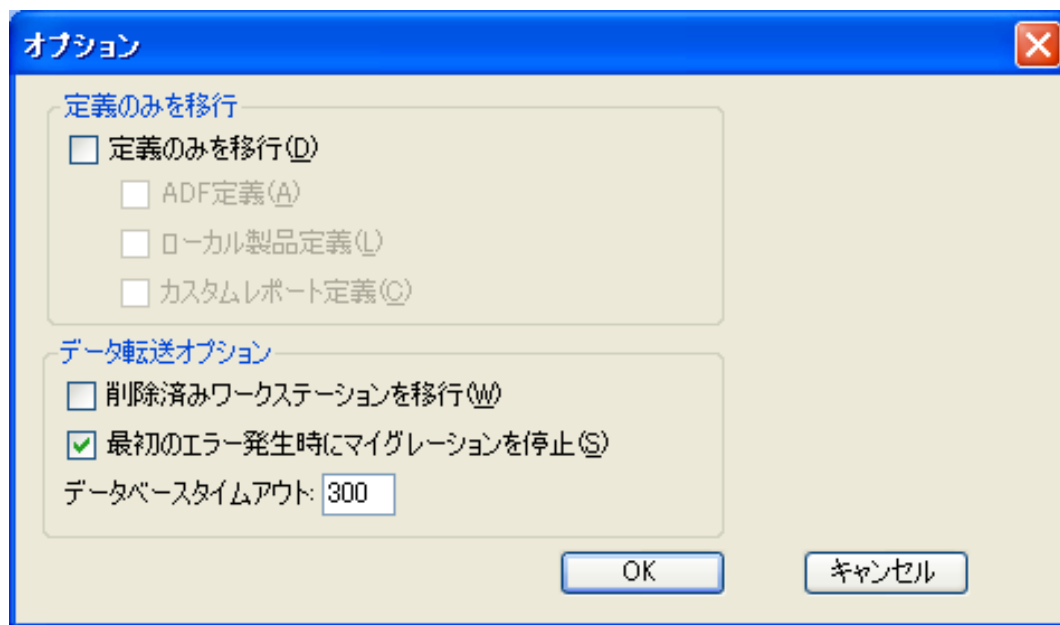
ユーザ定義フィールドの数が [マイグレートする項目] タブに表示されます。リストからユーザ定義フィールドを削除するには、[マイグレートする項目] タブをクリックし、[すべてのユーザ定義フィールド] を右クリックして、[マイグレーションキューからすべてのユーザ定義フィールドを削除] を選択します。ユーザ定義フィールドは個別には移行できません。

- 8 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。
[マイグレーションステータス] パネルが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。プロセスを停止するには、[キャンセル] をクリックします。

1.6.3 ローカル製品の定義の移行

ローカル製品の定義は、インベントリマイグレーションを初めて実行したときに自動的に移行されます。インベントリデータではなく、ローカル製品の定義だけをマイグレートする場合は、以下を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」 および 17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているように、ZENworks Asset Management 7.5 データベースと ZENworks 11 管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを表示します。



- 4 [定義のみを移行] を選択します。
- 5 [ローカル製品定義] を選択します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [ローカル製品] を右クリックし、[ローカル製品定義をすべて移行] を選択します。

- 8 (オプション) マイグレーションリストからローカル製品の定義を削除するには、[マイグレートする項目] をクリックし、[すべてのローカル製品定義] を右クリックして [マイグレーションキューからすべてのユーザ定義フィールドを削除] を選択します。
- 9 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。
[マイグレーションステータス] パネルが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。

1.6.4 アセット管理データの移行

移行されたアセット管理データには次の項目が含まれます。

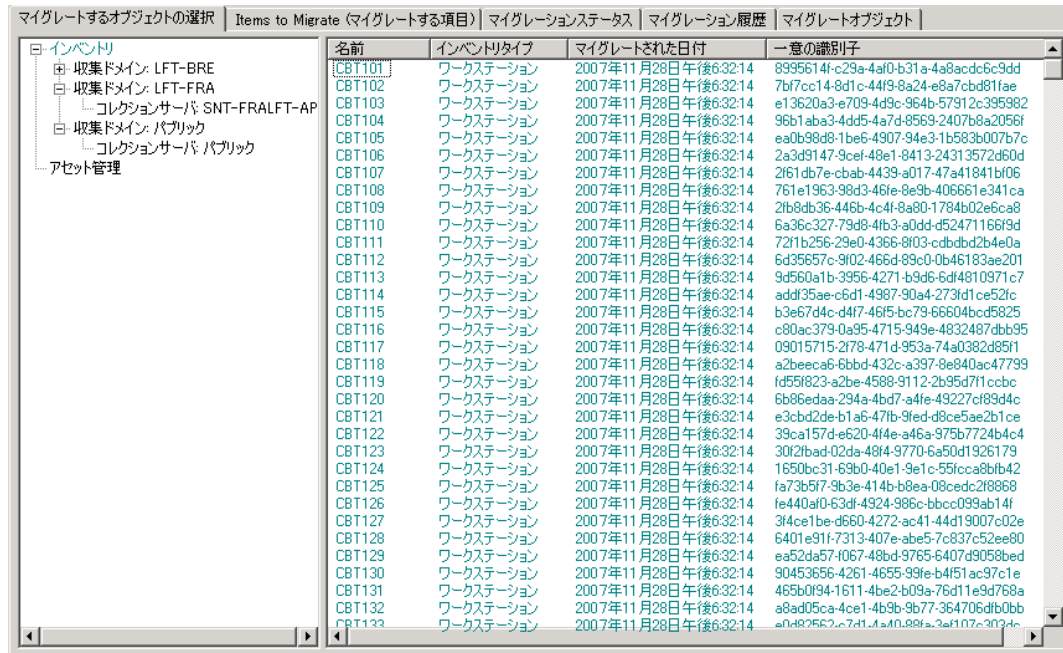
- ◆ カタログ製品
- ◆ 検出された製品
- ◆ 購入記録
- ◆ ライセンス製品 (ライセンス製品のマイグレーションの詳細については、[27 ページのセクション 1.6.6 「ライセンス記録の移行」](#) を参照してください)
- ◆ ソフトウェアコレクション
- ◆ 契約と日付通知
- ◆ 文書
- ◆ 次を除くライセンスの割り当て：
 - ◆ 「アップグレード元」のライセンス製品に関連する割り当て
 - ◆ 人口統計値が「なし」の場合に関連する人口統計割り当て

注：ZENworks Asset Management 7.5 IR 14 で使用可能なカタログ製品とライセンス記録のユーザ定義フィールド値はマイグレートされません。

警告：アセット管理データは、移行予定のインベントリワークステーションをすべて移行するまで移行しないでください。

アセット管理データをマイグレーションする

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。
- 2 [14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」](#) および [17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」](#) に示されているように、ZENworks Asset Management 7.5 データベースと ZENworks 11 管理ゾーンにログインします。
- 3 [マイグレートするオブジェクトの選択] タブをクリックします。

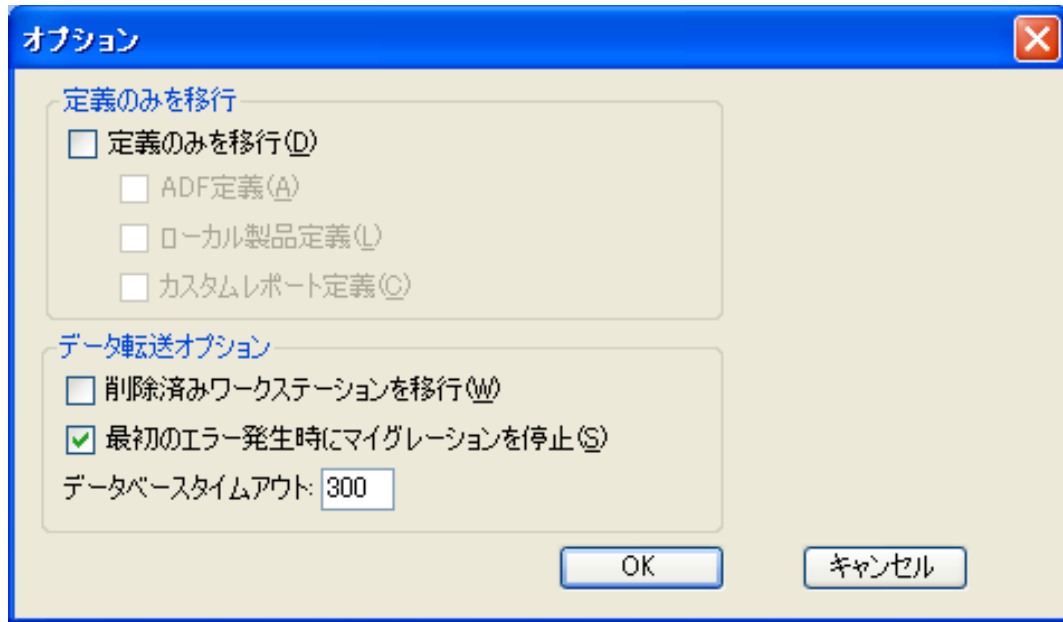


- 4 [アセット管理] を右クリックし、[アセット管理データをすべて移行] を選択します。
- 5 (オプション) [マイグレートする項目] タブをクリックし、移行される項目を確認します。
- 6 [Start Migration (マイグレーションの開始)] をクリックします。
[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。

1.6.5 アセット管理データのみの移行

アセット管理データ (24 ページのセクション 1.6.4 「アセット管理データの移行」 を参照) とアセット管理カスタムレポートおよび管理者定義フィールドをマイグレートする場合は、以下を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」 および 17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているように、ZENworks Asset Management 7.5 データベースと ZENworks 11 管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを表示します。



- 4 [定義のみを移行] を選択します。
- 5 [ADF 定義]、[ローカル製品定義]、および [カスタムレポート定義] を選択します。

注：ZENworks Asset Management 7.5 IR 14 で使用可能なカタログ製品とライセンス記録のユーザ定義フィールド値はマイグレートされません。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [マイグレートするオブジェクトの選択] タブで、次の手順に従います。
 - 7a [ユーザ定義フィールド] を右クリックし、[すべてのユーザ定義フィールドの移行] を選択します。
 - 7b [ローカル製品] を右クリックして、[すべてのローカル製品の移行] を選択します。
 - 7c [カスタムレポート] を右クリックして、[すべてのカスタムレポートの移行] を選択します。
- 8 [マイグレーションの開始] をクリックして、マイグレーションが完了するまで待ちます。
- 9 **ステップ 3** を繰り返して、もう一度 [オプション] ウィンドウを開きます。
- 10 [定義のみを移行] をオフにします。
- 11 [OK] をクリックします。
- 12 [マイグレートするオブジェクトの選択] タブをクリックします。

マイグレートするオブジェクトの選択					Items to Migrate (マイグレートする項目)	マイグレーションステータス	マイグレーション履歴	マイグレートオブジェクト
<div> <div>インベントリ</div> <div> <div>収集ドメイン: LFT-BRE</div> <div>収集ドメイン: LFT-FRA</div> <div>コレクションサーバ: SNT-FRALFT-AP</div> <div>収集ドメイン: パブリック</div> <div>コレクションサーバ: パブリック</div> <div>アセット管理</div> </div> </div>					名前	インベントリタイプ	マイグレートされた日付	一意の識別子
					CBT1101	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	8995614f-c29a-4a0b31a-4a8acd6c9dd
					CBT1102	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	7b7cc14-8d1c-44f9-8a24-e8a7cbd81fae
					CBT1103	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	e13620a3-e709-4d9c-964b-57912c395982
					CBT1104	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	96b1aba3-4dd5-4a7d-8569-2407b8a2056f
					CBT1105	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	ea0b98d8-1be6-4907-94e3-1b583b007b7c
					CBT1106	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	2a3d9147-9cef-48e1-8413-24313572d60d
					CBT1107	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	2f61db7e-cbab-4439-a017-47a41841bf06
					CBT1108	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	761e1963-98d3-46fe-8e9b-406661e341ca
					CBT1109	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	2fb8db36-446b-4c4f-8a80-1784b02e6ca8
					CBT1110	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6a36c327-79d8-4fb3-a0dd-d52471166f9d
					CBT1111	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	721fb256-29e0-4366-8f03-cdbdbd2b4e0a
					CBT1112	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6d35657c-9f02-466d-89c0-0b46183ae201
					CBT1113	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	9d560a1b-3956-4271-b9d6-6df4810971c7
					CBT1114	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	addf35ae-c6d1-4987-90a4-273fd1ce521c
					CBT1115	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	b3e67d4c-d47f-46f5-bc79-66604bcd5825
					CBT1116	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	c80ac379-0a95-4715-949e-48324b7dbb95
					CBT1117	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	09015715-2f78-471d-953a-74a0382d85f1
					CBT1118	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	a2beeca6-6bbd-432c-a397-8e940ac47799
					CBT1119	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	fd55f823-a2be-4588-9112-2b95d7f1ccbc
					CBT1120	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6b86edaa-294a-4bd7-a4fe-49227cf89d4c
					CBT1121	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	e3cbd2de-b1a6-47fb-9fed-d8ce5ae2b1ce
					CBT1122	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	39ca157d-e620-4f4e-a46a-975b7724b4c4
					CBT1123	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	30f2fbad-02da-48f4-9770-6a50d1926179
					CBT1124	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	1650bc31-69b0-40e1-9e1c-55fcca8bfb42
					CBT1125	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	fa73b57f-9b3e-414b-b8ea-08cedc2b6886
					CBT1126	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	fe440af0-63df-4924-986c-bbcc099ab14f
					CBT1127	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	3f4ce1be-d660-4272-ac41-44d19007c02e
					CBT1128	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	6401e91f-7313-407e-abe5-7c837c52ee80
					CBT1129	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	ea52da57-4067-48bd-9765-6407d9058bed
					CBT1130	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	90453656-4261-4655-99fe-b451ac97c1e
					CBT1131	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	465b0f94-1611-4be2-b09a-76d11e9d768a
					CBT1132	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	a8ad05ca-4ce1-4b9b-9b77-364706db0bb
					CBT1133	ワークステーション	2007年11月28日 午後6:32:14	a0d82562-c741-4a40-88fa-3ef107c303dc

13 [アセット管理] を右クリックして、[すべての *Asset Management* データの移行] を選択します。

14 [マイグレーションの開始] をクリックします。

[マイグレーションステータス] パネルが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。

1.6.6 ライセンス記録の移行

ZENworks Asset Management 7.5 のライセンス記録は、ZENworks 11 Asset Management では、ライセンスエンタイトルメントを含むライセンス製品に置き換えられています。ライセンスエンタイトルメントには、コンプライアンスと所有権の証明に必要な情報が含まれています。

ZENworks Asset Management 7.5 のライセンス記録を ZENworks 11 Asset Management に移行すると、単一のライセンスエンタイトルメントを持つライセンス製品が ZENworks 11 Asset Management 内に作成されます。このライセンスエンタイトルメントには、以前に ZENworks Asset Management 7.5 のライセンス記録に関連付けられていた、次のようなコンプライアンスと所有権の証明の情報がすべて含まれます。

- 調整された、検出された製品
- 調整されたカタログ製品 (および関連付けられた購入記録)
- 添付ドキュメント
- 関連付けられた契約

ZENworks Asset Management 7.5 IR 14 で使用可能なライセンス記録のユーザ定義フィールド値はマイグレートされません。

バージョンアップグレードを含む ZENworks Asset Management 7.5 ライセンス記録がある場合は、アップグレードパス内のすべてのライセンス記録が、複数のライセンスエンタイトル (アップグレードパス内のライセンス記録ごとに 1 つのエンタイトルメント) を持つ単一の ZENworks 11 Asset Management ライセンス製品に統合されます。

ZENworks Asset Management 7.5 では、バージョンアップグレードを複数のソースにリンクできますが、ZENworks 11 Asset Management では、バージョンアップグレードのライセンスエンタイトルメントをリンクできるのは、基礎をなす単一のエンタイトルメントだけです。ZENworks Asset Management 7.5 で複数のソースにリンクされているアップグレードがある場合は、マイグレーション後に、ZENworks 11 Asset Management で関連するライセンス製品およびライセンスエンタイトルメントを確認または変更する必要があります。

1.6.7 カスタムレポートの移行

以下のトピックでは、カスタムレポートのマイグレートについて詳しく説明します。

- ◆ [28 ページの「マイグレートされるレポート」](#)
- ◆ [28 ページの「マイグレートされないレポート」](#)
- ◆ [30 ページの「ZENworks Asset Management からのカスタムレポートの移行」](#)

マイグレートされるレポート

次の ZENworks Asset Management 7.5 カスタムレポートは、ZENworks 11 Asset Management にマイグレートできます。

- ◆ ワークステーションインベントリレポート
- ◆ ソフトウェア使用状況レポート
- ◆ ソフトウェア管理レポート
- ◆ 契約管理レポート

カスタムレポートのアラート / スケジュールと、ZENworks Asset Management 7.5 の電子メールリストも、カスタムレポートと一緒に移行されます。マイグレーション後、ZENworks 11 Asset Management では、各レポートが評価され、そのレポートの実行が必要かどうか判定されます。レポート結果を CSV 形式で添付するオプションは、マイグレーション中に、結果を Excel 形式で添付するオプションに変更されます。

レポートのスケジュール情報は、ZENworks コントロールセンターで特定のレポートページにナビゲートし、[スケジュール / 通知] [環境設定] > [アセットインベントリ] の順にクリックすると、電子メールリストを参照できます。

マイグレートされないレポート

以下のレポートはマイグレートされません。

- ◆ 次のフィールドが含まれるレポート：
 - ◆ ワークステーションチェックアウト済み
 - ◆ ワークステーションのチェックイン / チェックアウト日
 - ◆ 製品のライセンス数
 - ◆ 製品のライセンス ID
 - ◆ 製品のライセンス名

- ◆ (製品) 必要なライセンス
- ◆ ライセンスプラットフォーム
- ◆ 最後にスキャンした日付 / 時刻
- ◆ デフォルトゲートウェイ (ワークステーション)
- ◆ サブネットマスク (ワークステーション)
- ◆ 以上 / 以下 (サマリ) (ソフトウェアコンプライアンス)
- ◆ 接続情報、コレクションサーバ、または収集ドメインに関連するすべてのフィールド

1つまたは複数のフィールドを含むレポートをマイグレートする場合は、これらのフィールドが削除された ZENworks Asset Management 7.5 のバージョンのレポートを作成してから、そのバージョンをマイグレートします。これらのフィールドを削除しない場合、レポートのどの部分もマイグレートされません。レポートをマイグレートできるのは一度だけであることに注意してください。

- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 とともに配布されるカスタムレポート。ZENworks 11 Asset Management にも、同等のレポートがあります。ZENworks Asset Management 7.5 でこれらのレポートに変更を加えており、その変更を保存したい場合は、レポートをマイグレートする前にコピーを作成し、そのコピーがマイグレートされるようにします。
- ◆ 保存されたレポートの結果(保存されたレポートの結果はZENworks Asset Management 7.5 で参照できます。)
- ◆ レポートフォルダの権利。デフォルトでは、すべての ZENworks 11 Asset Management ユーザに、マイグレートされたレポートフォルダへの読み取り専用アクセス権があります。
- ◆ 次の内容を対象とするレポートは移行されません。
 - ◆ 接続情報
 - ◆ コンポーネントフィルタリング
 - ◆ ハードウェア - DMI
 - ◆ ライセンス割り当て - 人口統計
 - ◆ ライセンス割り当て - ワークステーション
 - ◆ ライセンス - 関連文書
 - ◆ 購入 / ライセンス / インベントリインフラストラクチャ
- ◆ 次の条件を満たす場合、レポートに含まれるワークステーションの基準を持つレポートまたはレポートに含まれないワークステーションの基準を持つレポート：
 - ◆ 参照されているレポートはマイグレートされません。参照レポートは、ZENworks 11 Asset Management とともに配布される事前定義されたレポートの 1 つではありません。
 - ◆ カスタムレポートは、事前定義されたレポートに基づいており、そのレポート定義は ZENworks 11 Asset Management で変更または削除されています。

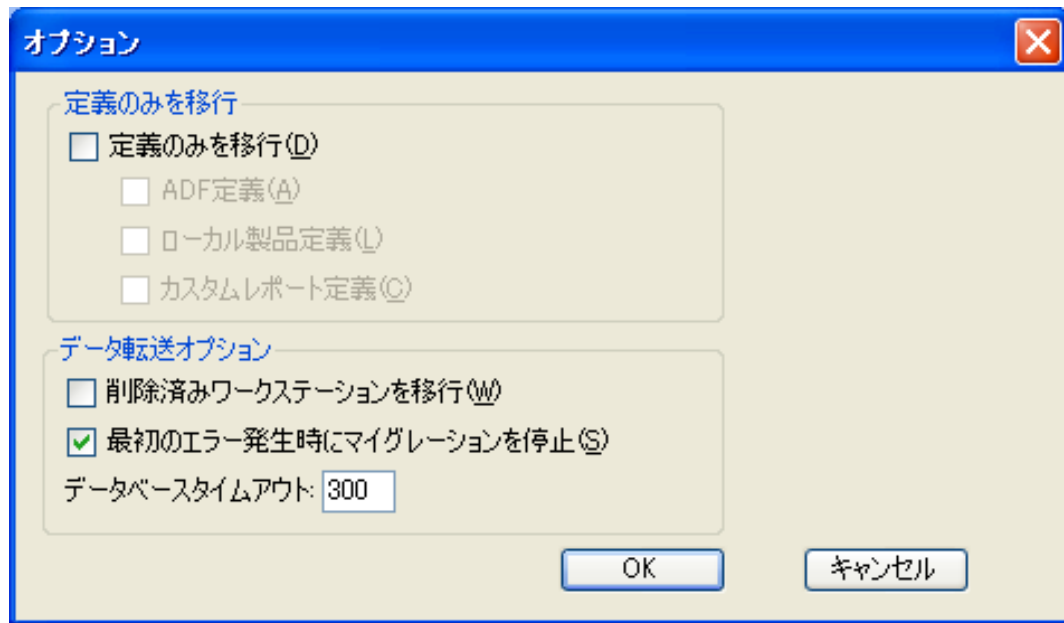
注：ハードウェア—システムボードレポートを ZENworks 11 Asset Management にインポートする際、ZENworks Asset Management 7.5 のバグによってエラーが発生する可能性があります。これは、ZENworks Asset Management 7.5 では [バス 1 スロット] カラムと [バス 2 スロット] カラムの両方がデータベースの [バス 2 スロット] カラムにリンクされているためです。この両方のカラムを含むレポートを処理すると、

NC_SystemBoard.Bus2Slots is not unique というエラーメッセージが表示されます。これを解決するには、レポート定義を開き、選択したカラムのリストからいずれかの [バス 2 スロット] カラムを削除します。

ZENworks Asset Management からのカスタムレポートの移行

カスタムレポートは、インベントリマイグレーションを初めて実行したときに自動的に移行されます。インベントリデータではなく、カスタムレポートだけをマイグレートする場合は、以下を実行します。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [Novell ZENworks] > [ZENworks Asset Management Migration Utility] の順にクリックします。
- 2 14 ページのセクション 1.4 「マイグレーションソースの選択」 および 17 ページのセクション 1.5 「マイグレーション先の選択」 に示されているように、ZENworks Asset Management 7.5 データベースと ZENworks 11 管理ゾーンにログインします。
- 3 [ツール] > [オプション] の順にクリックして、[オプション] ウィンドウを表示します。



- 4 [定義のみを移行] を選択します。
- 5 [カスタムレポート定義] を選択します。
レポートは 1 つのグループとして移行されます。個別に移行することはできません。管理者定義フィールドの定義は、カスタムレポートの定義と同時に事前に移行する必要があります。管理者定義フィールドの定義が移行されていない場合は、管理者定義フィールドカラムを含むカスタムレポートのマイグレーションはすべてブロックされます。
- 6 [OK] をクリックします。

7 **[Start Migration (マイグレーションの開始)]** をクリックします。

[マイグレーションステータス] パネルが開き、マイグレーションの詳細が表示されます。移行されたフォルダには、フォルダ名に `migrate` というプレフィックスが追加されます。

1.6.8 マイグレーションパフォーマンスのガイドライン

インベントリに少数のデバイスしかない場合を除き、すべてのインベントリデータをマイグレートするには、アセット管理データだけをマイグレートするよりもはるかに時間がかかります。次に記載するガイドラインは一般的な内容で、実際のパフォーマンスは次のようないくつかの要因によって異なります。

- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 および ZENworks 11 Asset Management のデータベースをホストするデータベースサーバの環境設定
- ◆ ネットワークの速度と環境設定
- ◆ ZENworks Asset Management 7.5 データベースの使用量および履歴データの量

マイグレーションプロセスを開始する前に、ZENworks Asset Management 7.5 データベースをバージしておくことを強く推奨します。

- ◆ [31 ページの「SQL サーバへのマイグレーション」](#)
- ◆ [31 ページの「Sybase Embedded へのマイグレーション」](#)
- ◆ [31 ページの「Oracle へのマイグレーション」](#)

SQL サーバへのマイグレーション

- ◆ 小規模 (200 デバイス) のデータベースは 30 分以内で完了します。
- ◆ 中規模 (1500 デバイス) のデータベースは 1 時間以内で完了します。
- ◆ 非常に大規模な (30,000 デバイス) データベースは 12 ～ 24 時間かかります。

Sybase Embedded へのマイグレーション

- ◆ 小規模 (200 デバイス) のデータベースは 30 ～ 45 分以内で完了します。
- ◆ 大規模 (1000 デバイス) のデータベースは 1 時間以内で完了します。

Oracle へのマイグレーション

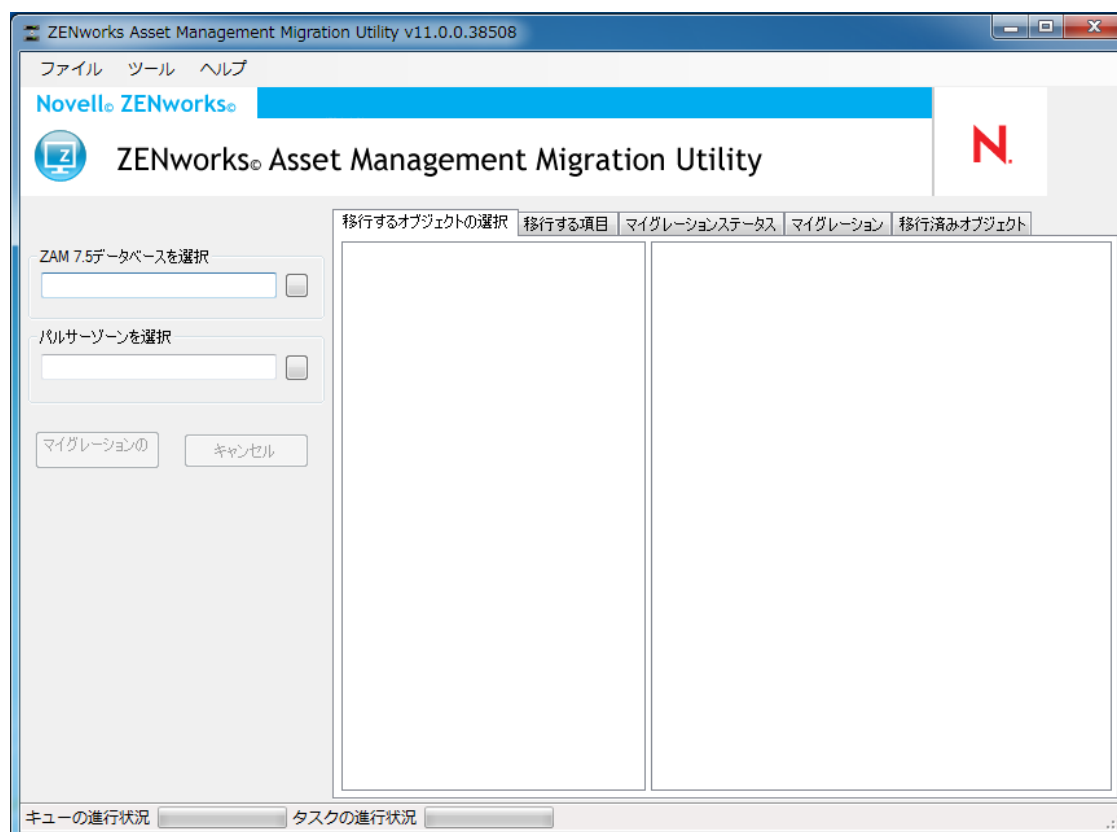
- ◆ マイグレーションするデバイスあたり 30 ～ 45 秒かかります。

マイグレーションコンソールの参照

2

Novell ZENworks 11 Asset Management Migration Utility にログインすると、マイグレーションコンソールが表示されます。

図 2-1 マイグレーションコンソール



次のセクションでは、コンソール機能のナビゲーションと使用に役立つ参照情報を提供します。

- 34 ページのセクション 2.1 「メニューオプション」
- 35 ページのセクション 2.2 「[マイグレートするオブジェクトの選択] タブ」
- 36 ページのセクション 2.3 「[マイグレートする項目] タブ」
- 36 ページのセクション 2.4 「[マイグレーションステータス] タブ」
- 36 ページのセクション 2.5 「[マイグレーション履歴] タブ」
- 37 ページのセクション 2.6 「[マイグレートオブジェクト] タブ」
- 37 ページのセクション 2.7 「[ZAM データベースを選択] フィールド」
- 40 ページのセクション 2.8 「[Select Zone (ゾーンの選択)] フィールド」
- 41 ページのセクション 2.9 「[マイグレーションの開始] ボタン」
- 41 ページのセクション 2.10 「[キャンセル] ボタン」

- [41 ページのセクション 2.11 「マイグレーションキュー進行状況」](#)
- [41 ページのセクション 2.12 「マイグレーションタスク進行状況」](#)

2.1 メニューオプション

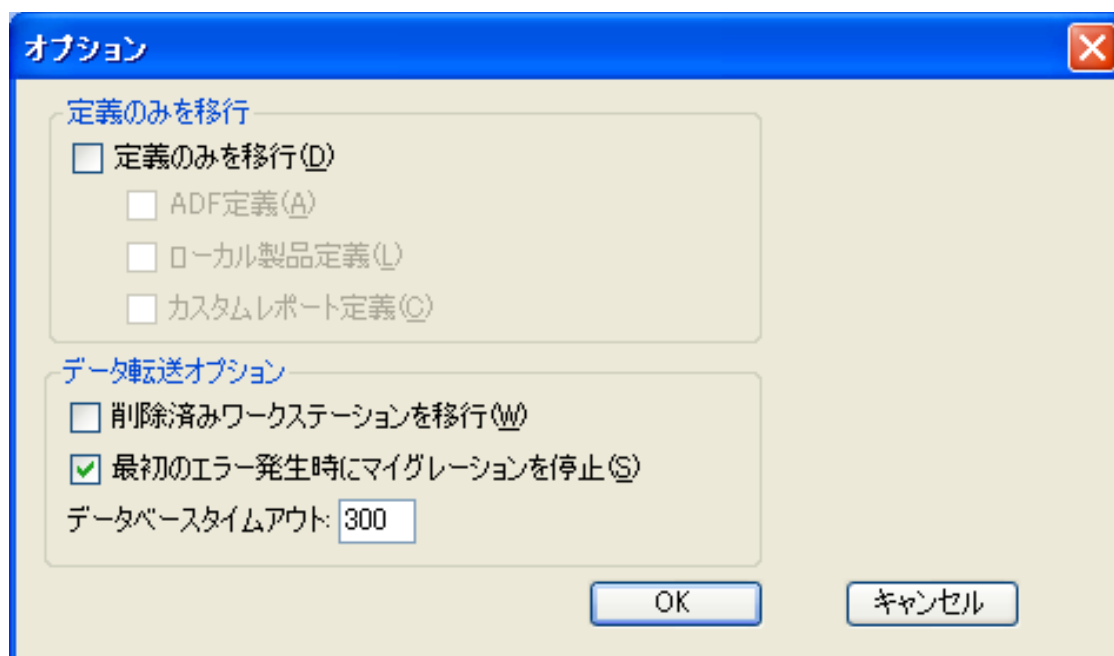
次のオプションを指定できます。

- **ファイル:** マイグレーションコンソールを終了するには、[\[ファイル\]](#) > [\[終了\]](#) の順にクリックします。
- **ツール:** [\[ツール\]](#) > [\[オプション\]](#) の順にクリックすると、[\[オプション\]](#) ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、移行するオブジェクト定義 (管理者定義フィールドの定義、ローカル製品の定義、またはカスタムレポートの定義) を選択します。これらのオプションは、インベントリデータを移行しない場合にのみ選択してください。デフォルトでは、インベントリデータを移行すると、これらの定義も移行されます。詳細については、[19 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレーション」](#) を参照してください。

[\[オプション\]](#) ウィンドウでは、データ転送オプションも選択できます。

- **削除済みワークステーションの移行:** このオプションは、ZENworks Asset Management 7.5 で削除対象としてマークされているワークステーションを移行する場合に選択します。
- **最初のエラー発生時にマイグレーションを停止:** このオプションは、最初にエラーが発生した時点でマイグレーションプロセスを停止する場合に選択します。SQL サーバの場合、このオプションを選択解除すると、失敗したマイグレーションを再開したときにデータの一部が損失する可能性があります。詳細については、[47 ページの付録 B 「ZENworks オブジェクトとその一意性」](#) を参照してください。
- **データベースタイムアウト:** このオプションによって、クエリがタイムアウトするまでの時間を設定できます。デフォルト値は 300 秒です (5 分)。低速または混雑している接続でクエリを行っている場合は、この値を増やす必要があるかもしれません。

図 2-2 「オプション」 ウィンドウ



2.2 「マイグレートするオブジェクトの選択」 タブ

「マイグレートするオブジェクトの選択」タブをクリックすると、移行できるオブジェクトが表示されます。これらのオブジェクトの移行については、[19 ページのセクション 1.6 「オブジェクトのマイグレート」](#)を参照してください。

- **インベントリ**：エンタープライズ用のインベントリデータ。これらのオブジェクトは、インベントリデータを移行する場合に使用します。詳細については、[20 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータの移行」](#)を参照してください。
- **管理者定義フィールド**：ZENworks Asset Management 7.5 に定義されているカスタムフィールド（アセット管理の管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドと呼びます。）管理者定義フィールドの定義のみを移行するか、それともフィールド定義とデータ値を移行するかを選択できます。詳細については、[22 ページのセクション 1.6.2 「管理者定義フィールド定義の移行」](#)を参照してください。
- **ローカル製品**：作成されてインベントリの一部としてトラックされるよう識別されるソフトウェア製品。定義のみが移行され、インベントリデータは移行されません。詳細については、[23 ページのセクション 1.6.3 「ローカル製品の定義の移行」](#)を参照してください。
- **アセット管理**：エンタープライズのアセット管理データです。これらのオプションは、アセット管理データを移行する場合に使用します。詳細については、[24 ページのセクション 1.6.4 「アセット管理データの移行」](#)を参照してください。
- **カスタムレポート**：ZENworks Asset Management 7.5 に定義されているインベントリおよびアセット管理カスタムレポートです。これらのオブジェクトは、カスタムレポートを移行する場合に使用します。詳細については、[28 ページのセクション 1.6.7 「カスタムレポートの移行」](#)を参照してください。

- ◆ **削除されたワークステーション** : ZENworks Asset Management 7.5 で削除対象としてマークされたワークステーション。これらのオブジェクトは、削除対象としてマークされたワークステーションを移行する場合に使用します。詳細については、[20 ページのセクション 1.6.1 「インベントリデータの移行」](#) を参照してください。

コレクションサーバをクリックすると、該当するグループのワークステーションが右側のパネルに表示されます。[削除されたワークステーション] をクリックすると、ZENworks Asset Management 7.5 で削除対象としてマークされたワークステーションが右側のパネルに表示されます。ワークステーション名、インベントリタイプ、移行日、および固有の識別子が表示されます。

図 2-3 [マイグレートするオブジェクトの選択]

マイグレートするオブジェクトの選択				
Items to Migrate (マイグレートする項目)		マイグレーションステータス		マイグレーション履歴
マイグレートオブジェクト				
名前	インベントリタイプ	マイグレートされた日付	一意の識別子	
インベントリ				
収集ドメイン: LFT-BRE				
収集ドメイン: LFT-FRA				
コレクションサーバ: SNT-FRALFT-AP				
収集ドメイン: パブリック				
コレクションサーバ: パブリック				
アセット管理				
CBT1101	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	8995614f-c29a-4af0-b31a-4a8acdc6c9dd	
CBT1102	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	7bf7cc14-8d1c-44f9-8a24-e8a7cbd81fae	
CBT1103	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e13620a3-e709-4d9c-964b-57912c395982	
CBT1104	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	96b1aba3-4dd5-4a7d-8569-2407b8a2056f	
CBT1105	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea0b98d8-1be6-4907-94e3-1b583b007b7c	
CBT1106	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2a3d9147-9cef-48e1-8413-24313572d6d0	
CBT1107	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2f61db7e-cbab-4439-a017-47a41841bf06	
CBT1108	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	761e1963-98d3-46fe-8e9b-406661e341ca	
CBT1109	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	2fb8db36-446b-4c4f-8a80-1784b02e6ca8	
CBT1110	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6a36c327-79d8-4fb3-a0dd-d52471166f9d	
CBT1111	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	72f1b256-29e0-4366-8f03-cdbdbd2b4e0a	
CBT1112	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6d35657c-9f02-466d-89c0-0b46183ae201	
CBT1113	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	9d560a1b-3956-4271-b9d6-6df4810971c7	
CBT1114	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	addf35ae-c6d1-4987-90a4-273fd1ce521c	
CBT1115	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	b3e67d4c-d4f7-46f5-bc79-66604bcd5825	
CBT1116	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	c80ac379-0a95-4715-949e-4832487dbb95	
CBT1117	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	09015715-2f78-471d-953a-74a0382d85f1	
CBT1118	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a2beeca6-6bbd-432c-a397-8e840ac47799	
CBT1119	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fd55f823-a2be-4588-9112-2b95d711ccbc	
CBT1120	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6b86edaa-294a-4bd7-a4fe-49227c89d4dc	
CBT1121	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e3cbd2de-b1a6-47fb-9fed-d8ce5ae2b1ce	
CBT1122	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	39ca157d-e620-4f4e-a46a-975b7724b4c4	
CBT1123	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	30f2bad0-02da-48f4-9770-6a50d1926179	
CBT1124	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	1650bc31-69b0-40e1-9e1c-55fcca8b1b42	
CBT1125	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fa73b5f7-9b3e-414b-b8ea-08cedc2f8968	
CBT1126	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	fe440af0-63df-4924-986c-bbcc099ab14f	
CBT1127	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	3f4ce1be-d660-4272-ac41-44d19007c02e	
CBT1128	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	6401e911-7313-407e-abe5-7c837c52ee80	
CBT1129	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	ea52da57-f067-48bd-9765-6407d9058bed	
CBT1130	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	90453656-4261-4655-99fe-b4f51ac97c1e	
CBT1131	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	465b0f94-1611-4be2-b09a-76d11e9d768a	
CBT1132	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	a8ad05ca-4ce1-4b9b-9b77-364706dfb0bb	
CBT1133	ワークステーション	2007年11月28日午後6:32:14	e0482562-c7d1-4a40-88fa-3e1f07c3034c	

2.3 [マイグレートする項目] タブ

[マイグレートする項目] パネルには、選択した各オブジェクトの名前、オブジェクトタイプ、および一意の識別子が表示されます。オブジェクトを右クリックし、[マイグレーションキューから項目を削除] を選択してマイグレーションリストからオブジェクトを削除します。

2.4 [マイグレーションステータス] タブ

オブジェクトを移行すると、マイグレーションの進行状況および詳細を表示する [マイグレーションステータス] タブに自動的に移動します。

2.5 [マイグレーション履歴] タブ

[マイグレーション履歴] タブには、オブジェクトタイプ、ステータス、およびマイグレーション日付情報と共に、移行されたオブジェクトが表示されます。特定の移行されたオブジェクトのステータスの詳細を表示するには、オブジェクトを右クリックして、

[*Detailed Status* (詳細ステータス)] を選択します。[マイグレーションステータス] タブが開き、マイグレーションに関する詳細が表示されます。移行されたオブジェクトの詳細リストを参照するには、オブジェクトを右クリックし、[マイグレートオブジェクト] を選択します。[マイグレートオブジェクト] タブが開き、移行されたオブジェクトの詳細リストが表示されます。

2.6 [マイグレートオブジェクト] タブ

[マイグレートオブジェクト] タブには、オブジェクトタイプ、移行された日付、およびオブジェクトの固有の識別子など、正常に移行されたオブジェクトが表示されます。

2.7 [ZAM データベースを選択] フィールド

[*Select ZAM Database* (ZAM データベースを選択)] フィールドは、ソースデータベースである ZENworks Asset Management 7.5 データベースを示します。[データベースタイプ] フィールドの右にあるボタンをクリックして、[ZAM データベースログイン] ダイアログボックスを開きます。ここからソースデータベースにログインできます。Microsoft SQL のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

図 2-4 Microsoft SQL サーバマイグレーションのための ZAM データベースへのログイン

ZAMデータベースログイン

Novell® ZENworks®

ZENworks® Asset Management Migration Utility

データベースタイプ(T):
MS SQL Server 2005 Express

サーバ(S):
engsql01

データベース(D):
Utopia

ユーザ名(U):
administrator

パスワード(P):

接続テスト(C) ヘルプ(H) OK キャンセル

データベースタイプ: データベースタイプを指定します。たとえば、外部および組み込み MS SQL Server の両方のデータベースに [MS SQL Server 2000/2005] を指定します。

サーバ: サーバの DNS 名または IP アドレスのいずれかを指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、前回ログインしたサーバがここに表示されます。

データベース: データベース名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後にログインしたデータベースがここに表示されます。

ユーザ名: ユーザ名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後に使用されたユーザ名がここに表示されます。

パスワード: パスワードを指定します。これは、認証のために毎回指定する必要があります。

Oracle のマイグレーションでは、次の画面が表示されます。

図 2-5 ZAM データベースログイン

ZAMデータベースログイン

Novell ZENworks

ZENworks Asset Management Migration Utility

データベースタイプ(T):
Oracle 9i/10g

サービス名(S):
lnx102c.lbn

ユーザ名(U):
jekdb1

パスワード(P):
|

接続テスト(C) ヘルプ(H) OK キャンセル

データベースタイプ: データベースタイプを指定します。たとえば、最新の Oracle データベースタイプに、[Oracle 9i/10g] を指定します。

サービス名: Oracle のマイグレーションでは、サービス名を指定します。このダイアログボックスを開くたびに、最後にログインしたサービスがここに表示されます。

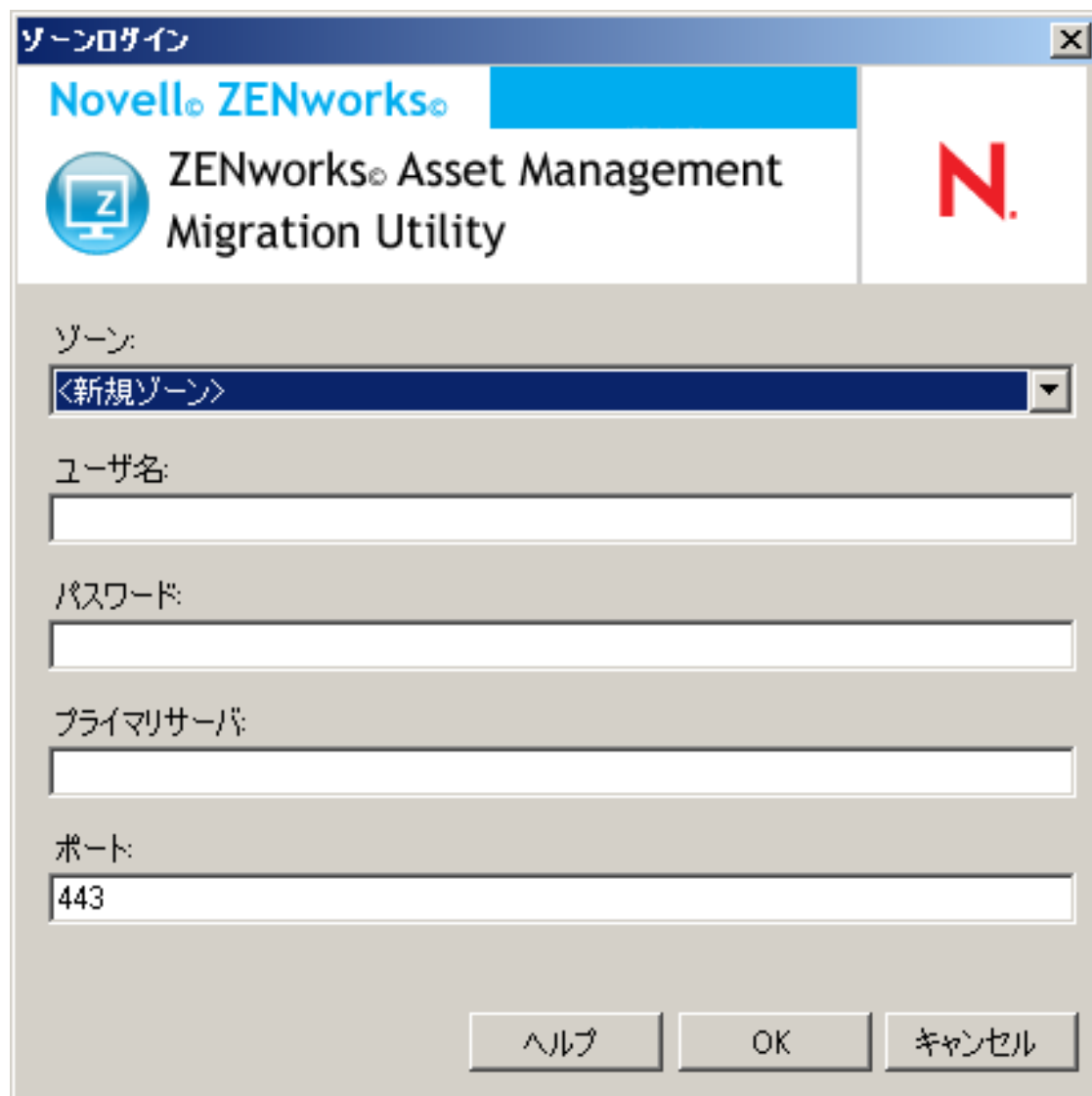
ユーザ名: ユーザ名を指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後に使用されたユーザ名がここに表示されます。

パスワード: パスワードを指定します。これは、認証のために毎回指定する必要があります。

2.8 [Select Zone (ゾーンを選択)] フィールド

[ゾーンを選択] フィールドには、ZENworks 11 Configuration Management の管理ゾーンであるマイグレーション先が表示されます。フィールドの右にあるボタンをクリックして、[ゾーンログイン] ダイアログボックスを開きます。そこから、マイグレーション先のデータベースを選択できます。

図 2-6 ゾーンログイン



ゾーン: 管理ゾーンを指定します。このダイアログボックスを使用するたびに、最後にログインしたゾーンがここに表示されます。

ユーザ名: ゾーンのユーザ名を指定します。[管理者] が通常使用されます。

パスワード: パスワードを指定します。これは、認証のたびに入力する必要があります。

プライマリサーバ: プライマリサーバの DNS 名または IP アドレスを指定します。このフィールドは、管理ゾーンを [ゾーン] フィールドで選択する場合には、自動的に入力されます。

ポート: ZENworks プライマリサーバの標準ポートは 443 です。サーバが別なポートを使用している場合は、ポート番号を指定します。

2.9 [マイグレーションの開始] ボタン

移行するオブジェクトを選択した後に、[*Start Migration* (マイグレーション開始)] をクリックしてマイグレーションプロセスを開始します。

2.10 [キャンセル] ボタン

[キャンセル] ボタンをクリックすると、その時点でマイグレーションプロセスが停止します。[キャンセル] ボタンを押したときにすでに移行されているオブジェクトは、ロールバックされません。

2.11 マイグレーションキュー進行状況

このインジケータはコンソールウィンドウの下部にあり、マイグレーションキューの進行状況が表示されます。

2.12 マイグレーションタスク進行状況

このインジケータはコンソールウィンドウの下部にあり、マイグレーションタスクの進行状況が表示されます。

ZENworks 7 Desktop Management と ZENworks 7.5 Asset Management の両方のマイグレー ション

A

ZENworks 7 Desktop Management と ZENworks 7.5 Asset Management の両方を ZENworks 11 に正常に移行するには、次に示すマイグレーション順序に従います。この順序に従うことにより、各 ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションを 1 つの ZENworks 11 管理対象デバイスに正常に移行し、ワークステーションに関連付けられているすべての ZDM 7 の割り当てと ZAM 7.5 のデータを保持することができます。

重要 : ZENworks 11 Adaptive Agent は、有効化されている Adaptive Agent の機能がアセット管理だけの場合は、ZENworks 7 Desktop Management Agent と同じワークステーションに共存できます。他の ZENworks 11 製品に関連する機能 (Configuration Management と Patch Management) を ZENworks 7 Desktop Management と同じコンピュータ上で有効化することはサポートされていません。

- 43 ページのセクション A.1 「マイグレーション順序」
- 44 ページのセクション A.2 「ZAM Migration Utility メッセージ」

A.1 マイグレーション順序

- 1 ZENworks 7.5 Asset Management を IR19 (またはこれ以上) リリースへアップグレードします。

IR19 の検索とダウンロードには、[Novell Patch Finder \(http://download.novell.com/patchfinder/\)](http://download.novell.com/patchfinder/) を使用できます。

- 2 ZENworks 7.5 Asset Management で、ZENworks 11 管理対象デバイスにしたいすべての ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションをスキャンします。スキャンにより、ZENworks 7 Desktop Management GUID (各ワークステーションのもの) が ZENworks 7.5 Asset Management インベントリデータベースに追加されます。

スキャン周期が移行対象のすべてのワークステーションについて完了したことを確認します。すべてのワークステーションを対象とするには、スキャンを複数回実行する必要があります。

インベントリスキャンの実行については、『[ZENworks 7.5 Asset Management ガイド \(http://www.novell.com/documentation/zam75/pdfdoc/am75admin/asset_management_users_guide.pdf\)](http://www.novell.com/documentation/zam75/pdfdoc/am75admin/asset_management_users_guide.pdf)』を参照してください。

3 ZENworks 11 Asset Management Migration Utility を実行して、インベントリデータを移行します。ユーティリティは、次の処理を実行します。

- ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションを ZENworks 11 データベース内の移行されたデバイスとして作成します。ZENworks 11 デバイスオブジェクトの作成では、ワークステーションの ZDM 7 GUID が使用されます。
- (各ワークステーションの)ZENworks 7.5 Asset Management インベントリデータを ZENworks 11 データベースに移行します。

ユーティリティの実行については、[9 ページの第 1 章「マイグレーションユーティリティの使用」](#)を参照してください。

4 (オプション)ZENworks 11 Asset Management Migration Utility を実行して、アセット管理データを移行します。

ユーティリティの実行については、[9 ページの第 1 章「マイグレーションユーティリティの使用」](#)を参照してください。

5 ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility を実行します。ユーティリティにより、既存の ZENworks 7 Desktop Management オブジェクトと関連付けが ZENworks 11 データベースに追加されます。

ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility の実行では、ワークステーションを移行しないでください。ZAM Migration Utility により、ワークステーションは ZENworks 11 データベースにデバイスとしてすでに存在しています。オブジェクト (アプリケーション、イメージ、ポリシーなど) と関連付けを移行してください。

このユーティリティの実行については、『[ZENworks 11 Configuration Management Migration Guide](#)』を参照してください。

6 ZENworks 7 Desktop Management Agent を ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションからアンインストールします。

これは、ZENworks 11 Adaptive Agent のインストールより前に実行する必要があります。

7 ZENworks 11 Adaptive Agent を ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションに展開します。

ZENworks 11 Adaptive Agent が ZENworks 11 データベースに登録され、正しい移行されたデバイスオブジェクトにリンクされます。移行されたデバイスオブジェクトは、正しい ZDM 7/ZAM 7.5 関連付けとそれに関連するデータを持つ管理対象デバイスオブジェクトに変更されます。

A.2 ZAM Migration Utility メッセージ

マイグレーションユーティリティは、ZENworks 7 Desktop Management と ZENworks 7.5 Asset Management のマイグレーションに関連するいくつかのメッセージを生成します。これらのメッセージは、マイグレーションを正常に行うために役立ちます。

インベントリデータに ZENworks 7 Desktop Management GUID がありません。

説明: マイグレーションユーティリティは、マイグレーションに選択された ZAM 7.5 ワークステーションの ZDM 7 GUID を見つけられませんでした。

原因: ワークステーションは、ZENworks 7.5 Asset Management IR19(またはそれ以上)を使用してスキャンされていません。IR19 には、ZDM 7 GUID をワークステーションのレジストリから読み取ってインベント

リデータに追加する、変更されたインベントリコレクタが用意されています。この共有 GUID により、ZAM 7.5 のインベントリデータと ZENworks 7 Desktop Management の関連付けを、同じ ZENworks 11 管理対象デバイスに対して調整することができます。

アクション: IR19 をインストールして、ワークステーションを再度スキャンします (詳細は [43 ページのステップ 2](#) を参照してください)。ZDM 7 がない場合は、メッセージを無視してください。

ZENworks Asset Management インベントリデータに、ZENworks Configuration Management ターゲットデータベースにすでに存在するデバイスがあります。

説明: マイグレーションユーティリティが、ZENworks 7.5 Asset Management データベースから移行中のワークステーションと同じ GUID を持つデバイスを ZENworks 11 データベース内で検出しました。

原因: ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility が実行されてから、ZENworks 11 Asset Management Migration Utility と ZDM 7 ワークステーションが ZENworks 11 データベースに移行されました。ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションは同じ GUID を共有しているため、ZAM Migration Utility がワークステーションを追加できません。ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility ではなく、ZAM Migration Utility を使用して、ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションを ZENworks 11 データベースに追加する必要があります。

アクション: 既存の重複するデバイスを ZENworks 11 データベースから削除します。ZENworks 11 Asset Management Migration Utility を実行し ([44 ページのステップ 3](#) 参照)、次に、ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility を実行します ([44 ページのステップ 5](#) 参照)。ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility の実行では、ワークステーションは移行しないでください。ワークステーションは ZENworks 11 データベースにデバイスとしてすでに存在しています。オブジェクト (アプリケーション、イメージ、ポリシーなど) とワークステーションの関連付けのみを移行してください。

この ZENworks Asset Management デバイスは、すでに ZENworks Configuration Management ターゲットデータベースに存在しているため、移行されません。

説明: マイグレーションユーティリティが、ZENworks 7.5 Asset Management データベースから移行中のワークステーションと同じ GUID を持つデバイスを ZENworks 11 データベース内で検出しました。

原因: ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility が実行されてから、ZENworks 11 Asset Management Migration Utility と ZDM 7 ワークステーションが ZENworks 11 データベースに移行されました。ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションは同じ GUID を共有しているため、ZAM Migration Utility がワークステーションを追加できません。ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility ではなく、ZAM Migration Utility を使用して、ZDM 7/ZAM 7.5 ワークステーションを ZENworks 11 データベースに追加する必要があります。

アクション: 既存の重複するデバイスを ZENworks 11 データベースから削除します。ZENworks 11 Asset Management Migration Utility を実行し ([44 ページのステップ 3](#) 参照)、次に、ZENworks 11 Configuration Management

Migration Utility を実行します (44 ページのステップ 5 参照)。
ZENworks 11 Configuration Management Migration Utility の実行では、ワークステーションを移行しないでください。ワークステーションは、ZENworks 11 データベースにデバイスとしてすでに存在しています。オブジェクト (アプリケーション、イメージ、ポリシーなど) とワークステーションの関連付けのみを移行してください。

ZENworks オブジェクトとその一意性

B

アセット管理データのマイグレーションでは、アセット管理オブジェクト（購買記録、ライセンス製品など）の大半が、ZENworks 11 Asset Management 内の重複オブジェクトのチェックなしでマイグレートされます。これにより、ZENworks Asset Management 7.5 からマイグレートされるオブジェクトと一致するオブジェクトが ZENworks 11 Asset Management 内にある場合は、次のような結果になります（各オブジェクトタイプの重複を構成するものについては、[47 ページのセクション B.1「重複オブジェクトの詳細」](#)を参照してください）。

- ◆ エラーによってマイグレーションプロセスが再起動された場合、ZENworks Asset Management 7.5 データの一部はすでにマイグレートされています。データが部分的にマイグレートされたため、マイグレート済みのオブジェクトは拒否され、マイグレーションユーティリティから重複キー違反が報告されます。
 - ◆ SQL サーバ上で実行される ZENworks 11 Asset Management にマイグレートする場合は、重複の修正後に Migration Utility を再起動できます。その際、[最初のエラーでマイグレーションを停止] 設定は、必ずオフにしておきます。ただし、マイグレーションを再起動するとデータが損失する可能性があります。この可能性を許容できない場合は、ZENworks Asset Management 7.5 と ZENworks 11 Asset Management のデータベースバックアップを復元し、重複を解決してから再度マイグレーションユーティリティを実行することを推奨します。
 - ◆ SybaseまたはOracleのどちらかで実行されるZENworks 11 Asset Managementに移行する場合は、ZENworks Asset Management 7.5 および ZENworks 11 Asset Management のデータベースバックアップを復元し、重複を解決してから、マイグレーションユーティリティを再実行する必要があります。
- ◆ オブジェクトが重複していて、オブジェクトの ZENworks 11 Asset Management バージョンがサブフォルダ内にない場合、マイグレーションユーティリティによってエラーが発生します。マイグレーションユーティリティが処理していた重複オブジェクトの一部または全部（ライセンスなど）が、ZENworks 11 Asset Management に移動されません。
- ◆ オブジェクトが重複していても、オブジェクトの ZENworks 11 Asset Management バージョンがサブフォルダにある場合は、マイグレーションユーティリティにより、オブジェクトが ZENworks 11 Asset Management に追加されます。ZENworks 11 内の別々のフォルダに、一致する名前を持つ 2 つのオブジェクトが存在するようになります。これに対する例外は契約です。ZENworks 11 Asset Management では、サブフォルダに分かれていても、契約 ID が重複することはできません。

B.1 重複オブジェクトの詳細

- ◆ [48 ページのセクション B.1.1「購入レコード」](#)
- ◆ [48 ページのセクション B.1.2「カタログ製品」](#)
- ◆ [48 ページのセクション B.1.3「ライセンス製品」](#)
- ◆ [48 ページのセクション B.1.4「検出された製品」](#)

- ◆ 48 ページのセクション B.1.5 「ソフトウェアコレクション」
- ◆ 49 ページのセクション B.1.6 「契約」
- ◆ 49 ページのセクション B.1.7 「日付通知」
- ◆ 49 ページのセクション B.1.8 「文書」

B.1.1 購入レコード

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、PO 番号と注文日の組み合わせです。PO 番号が空でなければ、マイグレーション中は PO 番号が使用されます。空の場合は、新規作成 PO 番号の一部として注文日が使用されます。

B.1.2 カタログ製品

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、製造元 + 製品 + 製品タイプ + バージョン + パッケージごとのライセンスの組み合わせです。

B.1.3 ライセンス製品

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、製造元 + 製品 + バージョン情報の組み合わせです。ライセンスは重複でないが、そのライセンスにカタログ製品が関連付けられていて、そのカタログ製品に ZENworks 11 内の既存ライセンスが関連付けられている場合は、データベースでは同じカタログ製品に複数のライセンスの関連付けを許さないもので、マイグレーションユーティリティでエラーが発生します。

ライセンスは重複していないが、その検出製品に ZENworks 11 Asset Management 内の既存ライセンスが関連付けられている場合、マイグレーションは続行します。検出された製品は両方のライセンスのインストールとしてカウントされるので、2 つのライセンスの使用番号は正確ではありません。ZENworks 11 Asset Management 内の一方のライセンスから、検出製品を削除する必要があります。

B.1.4 検出された製品

マイグレーションユーティリティはローカル製品だけをマイグレートします。重複はマイグレートしません。

B.1.5 ソフトウェアコレクション

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、製造元 + 製品 + バージョン情報の組み合わせです。ZENworks Asset Management 7.5 では、コレクションに重複している値を入力すると、ZENworks Asset Management が製品値を増やします。

同じメンバー製品を必要とする ZENworks Asset Management 7.5 と ZENworks 11 Asset Management で重複しないコレクションが定義されている場合、このデータは、マイグレーションユーティリティによって ZENworks 11 に転送されます。この操作によって、両方のコレクションで同じ製品に対してインストールがカウントされることになるので、ZENworks 11 Configuration Management でこれを修正する必要があります。

B.1.6 契約

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは契約 ID です。他のアセット管理オブジェクトとは異なり、ZENworks 11 Asset Management では同じ契約 ID で複数のフォルダに契約を作成することはできません。ZENworks Asset Management 7.5 内の契約であって、ZENworks 11 Asset Management 内の契約 ID と一致する契約は、マイグレートされません。

B.1.7 日付通知

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、ランダムに生成された識別子です。ZENworks Asset Management 7.5 では、通知のすべての列に重複値を使用することはできません。ZENworks 11 Asset Management では、フォルダごとに一意な通知名を適用します。ZENworks Asset Management 7.5 に重複した名前の通知がある場合、マイグレーションは失敗します。

B.1.8 文書

ZENworks Asset Management 7.5 の一意なレコードは、ランダムに生成された識別子です。ZENworks Asset Management 7.5 では、ドキュメントのすべての列に重複した値を使用することはできません。ZENworks 11 Asset Management では、フォルダごとに一意なドキュメント ID 名を適用します。ZENworks Asset Management 7.5 に重複したドキュメント ID がある場合、マイグレーションは失敗します。

用語集

管理者定義フィールド

アセットインベントリでは、フィールドを使用することで、ユーザ、ワークステーション、コンポーネント、または製品のカスタムフィールドを作成できます。アセット管理の場合は、契約またはライセンス製品のフィールドを作成できます。管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドと呼びます。

アセット管理データ

次の内容を含むデータです。

・アセット管理使用状況データ・アセット管理カスタムレポート・アセット管理の管理者定義フィールド・カタログ製品・検出された製品・購入記録・ライセンス製品・ソフトウェアコレクション・契約と日付通知・文書

コレクションドメイン

ZENworks Asset Management 7.5 ではエンタープライズを論理グループに分類するために使用されます。

コレクションサーバ

特定のサーバに存在し、選択されたワークステーションのグループからインベントリデータを収集して中央のインベントリデータベースにロードするソフトウェア。

カスタムレポート

特定の機能に合わせてカスタマイズできるアセット管理またはインベントリのレポート。

削除済みのワークステーション

ZENworks Asset Management 7.5 では削除としてマークされているデバイス。削除としてマークされたデバイスは、完全にパージされるまですべての属性、履歴、およびコンポーネントと一緒にデータベース内に保存されたままです。パージされると、すべての関連データと一緒にインベントリデータベースから削除されます。

デバイス

ZENworks 10 Asset Management では、デバイスはワークステーションまたはサーバ、ZENworks Asset Management 7.5 では、デバイスはネットワーク検出デバイスのことを指します。

インベントリデータ

次の内容を含むデータです。

・デバイス・デバイス履歴・ローカルソフトウェア製品・ハードウェアとソフトウェアのコンポーネント・管理者定義フィールド・カスタムレポート

ローカル製品

インベントリスキャンで識別できるように定義されている製品。

使用状況データ

ハードウェアコンポーネント、ソフトウェアコンポーネント、ユーザ名、使用時間などを含む、インベントリに関連するデータ。

ユーザ定義フィールド

[51 ページの「管理者定義フィールド」](#)を参照してください。アセット管理の管理者定義フィールドは、ZENworks Asset Management 7.5 ではユーザ定義フィールドと呼びます。